

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 北九州中津口教室

保護者等数(児童数) 9

回収数 9

割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7			2	・身体を動かす内容ができるよう、広くスペースを確保されていると思います。	お子様が活動しやすい環境を今後も継続して確保していきながら、室内の様子を保護者の方が把握できるように伝えていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	2		1	・施設内に入っていないので分かりません。 ・細やかに配慮されており、専門性を感じます。	配置数は基準を満たしていますが、退職等に備えて今以上に余裕をもった人員確保に努めます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1		4	・設備はバリアフリーを意識しておられると思います。	全室バリアフリーで、子ども用トイレには手すりを設置しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9				・支援員の方や先生からお聞きします。 ・子どもの特性をより理解してくださっています。	契約時より保護者の方との連携を大切にしていきます。お子様のニーズを話し合い、今必要な支援を考案し計画作成を心がけています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	8	1			・プログラムで分かります。 ・様々なプログラムがあり、充実していると思います。	プログラムのアイデアを職員間で出し合い作成しております。季節のプログラムも取り入れております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			3	1	4	・まだ、そのようなイベントに参加していないため不明。
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9				・先生から電話にてお聞きします。 ・いつも丁寧だと感じます。	契約時に説明させていただいております。また、ご意見や質問等はいつでも受け付けております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	1			・いつも連絡帳にたくさん子どもの様子を書いてくださり、わかりやすいです。	デイロボを導入し、その日のお子様の様子を写真付きでお伝えすることができるようになりました。 保護者様からもご自宅での様子などを教えていただきながら、今後も共通理解を図っていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9				・都度、お聞きします。 ・子どもの様子に異変があるときは、電話等で丁寧に教えてくださります。	送迎時にお話しする機会を設け、何かあればお伝えしております。 保護者様発信での面談の機会も検討しております。よろしく願っています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	1	3	・参加したことはありませんが、そのような支援もされており、支援が充実していると感じます。	親子で参加できるイベントや、保護者会などの開催を計画していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		1	・都度、対応されています。 ・こちらからのリクエストにいつもしっかり対応くださっています。	連絡帳において、保護者様と連携することができ、支援に役立てさせていただいております。送迎時にも、お子様の様子についてお話をいただいております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9				・多忙な様子なので、聞けるときに伺っています。 ・充実していると思います。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9				・LINEアプリで確認しています。 ・LINEにていろいろな情報を伝えてくださっており、わかりやすいです。	デイロボを導入し、その日のお子様の様子を写真付きでお伝えすることができるようになりました。 また、公式LINEを活用し、随時お知らせを行っております。
14 個人情報に十分注意しているか	8	1			・不安なく利用できています。	個人情報の管理を徹底して行っております。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	2		2	・インフルエンザの流行に合わせて、検温等のルールの情報提供もあり、わかりやすいです。	マニュアルにつきましては、事務室に掲示しておりますのでいつでもご覧いただけます。今後も、防犯や感染症についての研修や訓練を行ってまいります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2		3	・もしもの災害時(デイサービス利用中)に避難する場所、連絡の取りあい方など決めておく必要があるのかなと思います。 ・されています。	教室にて、避難訓練を行っております。実施の様子などを発信し、保護者の方にもお伝えしていきたいと思っています。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	7	2			・とても楽しんでいます。 ・内容自体は楽しみにしているのですが、学校のあと、さらにデイに行くのがしんどい様子です。	お子様が見せてくれる笑顔や成長した姿に、職員一同感謝しております。お子様が楽しんで通うことができ、成長を感じられるよう、プログラムなどを充実させてまいります。
	18 事業所の支援に満足しているか	9				・子どもが親しみ、楽しんでいるからです。 ・様々な体験ができるので、保護者としては満足しています。本人が学校終わりに利用するのがしんどそう那点だけが悩みです。	皆様のご意見に感謝するばかりです。今後も楽しみながら成長できる支援内容を考え、実施していきたいと思っています。

120 18 2 20

75%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 北九州中津口教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10		時間や場所を区切って、活動に十分なスペースを確保できるようにしています。	活動内容によっては、間仕切りなどを使用し、活動しやすいよう配慮していきます。
	2 職員の配置数は適切である	10		お客様の安全を確保できるよう、職員配置しております。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10			全室バリアフリーで、子ども用トイレには手すりを設置しています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		会議では全職員が意見を出し、業務改善に役立てています。	職員全員が意見を言えるような風通しのよい職場環境に努めています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		アンケートで頂くご意見や、連絡帳、送迎時を利用して、保護者の方の要望やご意見を伺い、職員間での情報共有をしています。	連絡帳や送迎時を利用して、保護者とコミュニケーションを図り、意向等を把握できるように努めていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1	事業所内に掲示しており、いつでも閲覧できるようにしております。	ホームページを活用し、幅広い方々に事業所の現状を知っていただきたいと思います。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		事業所内の研修や勉強会を行っている。	事業所内に留まっている為、外部研修の参加をしていきたい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10		アセスメントツールや保護者への聞き取りを行っている。関係機関にも聞き取りを行い、計画作成に役立てています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		アセスメントシートのほか、日頃の様子で保護者に聞き取りを行い、情報をアップデートするようにしています。	定期的に情報をアップデートしたものを紙面にて共有できれば尚よいと思うので、考案していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	10		全職員で話し合いながら立案するよう取り組んでいます。	決定したものを全職員で共有できるよう、視覚的に掲示することなど進めていきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		個々が意見を出し合い決定している。	保護者の方の要望も取り入れながら、まずは子供が楽しく遊べる、学べるプログラムを取り入れていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10		土日祝や長期休暇には、普段取り組むことのできない内容のプログラムを取り入れていきます。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10		個別支援内容を決定し、集団プログラムの中でも個別に設定した課題に取り組めるようにしています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	2	送迎担当についてはボードに記載し、確認している。主に前日の終礼で情報共有を行い、翌日の支援についても話し合っている。時短のパートさんには当日伝えることもある。	職員間で情報を受け取るタイミングに差があるため、連絡ツールを使用し、報連相を徹底していきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10		グループLINEや用紙で情報を共有している。話し合いの内容は、出席出来ていない職員にも周知するよう改善されてきている。	全職員での振り返りが行えない現状にあるので、一日の内容を振り返る機会を設け、共有できるようにしていきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1	デロボに記載した支援内容については、全職員が共有できるようになった。その日の共有事項をグループLINEで共有している。	口頭での共有、改善に留まることもあり、時短勤務の職員に届くまで時差があるため、グループLINEの活用を徹底する。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10		毎回アセスメントツールを使用し、保護者の方の要望等を伺っています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9				
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10		必要に応じて、児発管以外の職員も参加しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10		市の機関や関係機関と連携し、会議等への参加や支援内容について共通理解を図り、支援を行っています。会議にて話し合い内容は用紙にまとめ、職員に周知しています。	引き続き、進学や進級に合わせて新しい担任の先生等との図っていきます。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2		該当者なし	該当者なし

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8		保護者の方を中心に連携協力体制を構築できるように取り組んでいます。	お子様の日々の変化を共有できていないタイミングもあるため、保護者の方や相談支援と協力して理解を深めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		移行事例がありません。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2			療育センターの職員派遣研修の機会を設けたいと考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	6			来年度は交流できる機会を計画していきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	5			来年度は参加を計画していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			デイロボの記載に加えて、送迎時に情報共有をはかっている。	デイロボを導入し、写真付きでお子様の様子を共有でき、保護者の方からは伝わりやすいとお声をいただいております。引き続き、保護者の方とお子様の様子を伝え合い、共通理解を図っていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	2			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			契約時にお伝えしたうえで、保護者の方より質問等があった場合には随時お伝えをしています。	分かりにくい点もあるため、繰り返しお伝えしていきます。全職員が対応できるよう、知識向上にも努めています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			面談や電話にて行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8			保護者を招いた研修を開催した。今年度は開催したものの、日程の変更により参加者が少なかったため、次年度はもっと早く周知し、参加者が増えるようにしたい。	保護者の交流会については、開催したが放デイの参加者がいなかったため、早めの計画、お知らせで実現できればと思います。本年度は日程変更があり参加者が少なかったため、次年度は早めの周知により参加者が増えるように工夫したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			「何かあればいつでもお聞きします」と全職員で随時お声がけするように努めています。また、その場で返答せずに必ず持ち帰り、可能な限り当日中に返答するように努めています。	保護者の方からの意見等があった場合には、必ず持ち帰り、事業所全体で取り組むよう努めてまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9			SNSやプログラムにて行事予定などをお伝えしています。	
	35	個人情報に十分注意している	10				十分注意して取り扱いをしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			視覚支援により子どもとのコミュニケーションを取っている。お子様や保護者の方に合わせた方法を選択し、実施するよう心がけています。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	4			来年度は交流できる機会を計画していきたいと考えています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10				職員には周知しているが、保護者には行っていないため、周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			消防署指導の下、実際に訓練を実施した。	今後も定期的に実施する予定です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			本部の研修とは別に事業所内にて研修を行い、全職員に意見を求めるようにしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			現在、該当者はいないが、いた場合には適切に対応していく。	現在、該当者はいないが、いた場合には適切に対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		指示書ではなく、保護者の方より情報をいただいています。	アレルギーの子が新しく来たら、一覧表を作った方がよいと感じる。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			振り返りの際にヒヤリハットの報告を行い、事故に繋がらないように対策を確認しています。ヒヤリハットをまとめて、職員間で共有しています。	ヒヤリハットの多い事項に関しては、環境を改善するなど対策を行っていきます。